



令和3年12月

<12月の予定>

木曜日	2日・9日・16日・23日 30日	17:00～19:00(針ヶ谷小学校体育館) お休み
土曜日	4日 11日 18日 25日	15:00～17:00(防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:駒場体育館柔道場) 15:00～17:00(全員:本太中修道館) クリスマス会 14:30～17:00(全員:本太中修道館) 「合宿杯兼OB会」稽古納め 9:00～11:00(大宮武道館主道場全面)
■	4日(土)	浦和剣連一・二・三級審査会 9:00～(さいたま市記念総合体育館)

<1月の予定>

木曜日	6日 13日・20日・27日	稽古始め 17:00～19:00(針ヶ谷小学校体育館)
土曜日	8日 15日 22日・29日	15:00～17:00(全員:本太中修道館) 15:00～17:00(防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:本太中修道館剣道場) 15:00～17:00(防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:駒場体育館柔道場)

<2月の予定>

木曜日	全て	17:00～19:00(針ヶ谷小学校体育館)
土曜日	5日・26日 12日・19日	15:00～17:00(全員:本太中修道館) 15:00～17:00(防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:駒場体育館柔道場)

※状況により稽古場の場所が変更になります
詳細等はスラックをご確認ください。





本荘先生からのお言葉

11月下旬になって、寒さが一段と厳しくなってきました。いよいよ寒稽古の季節の到来です。新型コロナウイルス感染予防と合わせて、風邪などひかないように体調管理に気をつけながら、激しい稽古に取り組んでいきましょう。

さて、11月14日（日）常盤小学校体育館において「やどかり剣生会と駒場剣友会の交流会」が行われました。久しぶりに対外試合ができて楽しい時間でした。小学生は、防具組と基本組（赤タスキ組を含む）に分かれ、それぞれ2チームずつ作り団体戦を行い、中学生と大人は14人制の団体戦を行いました。勝敗にこだわらず、今までやってきた稽古の成果を発揮できるようにと指示をしましたが、思い切った技を出し精一杯がんばっている姿が見られました。礼儀正しくあいさつなどもできたようです。見たこと、感じたことをそれぞれがこれからの稽古に生かし、さらなるやる気につながることを期待しています。

いつの時代だったか、「剣道をするとう頭が良くなる」ということが言われていました。実際はどうなのでしょう。科学的に立証されていることかどうかはわかりません。先日、木曜日の稽古で「足じゃんけん試合」を行いました。足でじゃんけんしてグーで勝ったら小手を、チョキで勝ったら面を、パーで勝ったら胴を打てるというものです。負けた人は打たれる前にそこを防御します。初めてやったので、勝ったか負けたかを確認して、両者あわてて動き出すようなことが多かったように見えました。あらためて考えてみてください。自分が出すものはわかっているわけです。例えばグーを出すとします。相手がチョキを出せば勝って小手を打てます。その準備をします。でも相手がパーを出したら負けなので胴にきます。面を打つことと胴を打たれることを考えてグーを出していた人いましたか？そこまで考えていなかったと思います。当然「あいこでしょ、あいこでしょ！」と連続してやっていましたのでそんなこと考えている余裕はありませんでしたよね。でも、実際の稽古（試合）においてもじゃんけんはしないものの、相手がこうなったら（隙が見えたら）ここを打つ、そしてこうきたらこう返す、などと反応しているのです。頭で考えるというより体が自然に動く、それが素早く的確にできる人が「剣道が強い」と言われるのかもしれませんが。なかなか反応するのは簡単ではありません。そのため、普段の稽古で何千回、何万回と繰り返し同じことを行い体に覚えさせていくのです。



応じ技の稽古の時、「攻めて相手を引き出して」と言われていますよね。相手が小手を打ってくるように仕向けて相小手面や小手すり上げ面で決める、こんなふうに「攻めて引き出して」ができるようになると楽しくなります。小学生には難しいですが足じゃんけんがヒントになります。自分が何を出すかわかっていてその対応策を考えることは、少し「攻め」に通ずるものがあります。足じゃんけん試合で、何も考え

ないで勝った負けたを認識してから動いている人は、何を出したらここを打ててここを守ると体が覚えている人とやったら、おそらく何度やっても勝てません。そして、相手のグーチョキパーを出すパターンを察知して、いつもじゃんけんで勝っている人は相手に打たれることはありません。日頃の稽古において、ボーッとやっても多少体力はつきますが、頭を使ってやればより強くなれるはずなのです。剣道をやることにより「頭が良くなる」ように「頭も使って」稽古していきましょう。

12月、1月の木、土曜日の稽古は駒剣寒稽古となります。初めての人もありますので内容とポイントを書いておきます。

- 1 ランニング 声を出しながら走ります。体を温める効果と剣道に必要なリズム感も養います。「1, 1, 1, 2」『ソーレ』これを4回繰り返す「ソーレ」『1』「ソーレ」『2』「ソーレ」『3』「ソーレ」『4 (し)』全員で『1 2 3 4 1 2 3 4』
「 」順番に1人が 『 』その他の人で
- 2 体操・素振り 四股（しこ）を取り入れます。お相撲さんが行うそれです。姿勢よく十分に腰を落とします。踏み込みの強化にもつながります。八呼間の正面打ちも。前、後、右、左に2本ずつ計8本が1セットで10セットや20セット振ります。
- 3 基本打ち 面をつけて相手を見つけ「面打ち」を中心とした基本打ちを行います。早く面をつけて指導をしてもらえる相手を見つけることが大事です。
- 4 切り返し 大きく正確に左右面を打ちます。両手の間から相手が見えるように振り上げます。体当たりも腰からしっかりと。
- 5 かかり稽古 休まず打っていきます。経験の浅い者は元立ちがあけたところを正確に打っていくようにします。打たれるのを恐れてよけることはしません。
- 6 地稽古 お互いの稽古です。気力体力を振り絞って積極的にかかります。
- 7 竜田川 面をつけたまま早素振りをします。名前の由来は『ちはやぶる神代もきかず竜田川からくれなゐに水くくるとは』和歌からきています。



毎回以上のことをすべて行うわけではありません。指導者がアレンジしながら稽古内容を決めていきます。寒いときは着替える時がづらいです。そこで気持ちで負けなないようにします。先日話したように紐が外れたりして稽古から抜けることのないよう着装をしっかりとすることも大きなポイントです。

太郎の百錬自得



第91回

2021年を振り返る

あっという間に12月です。今年は稽古回数が77回程度と昨年と同じくここ数年では少ない年になりました。回数だけでなく、交流という意味合いでも、さまざまな方と稽古する機会が少なかったです。コロナの影響もあり致し方ないのですが、やはり剣道は稽古回数と様々な方との稽古で得られることが多いです。コロナが落ち着きコロナ前のような稽古や試合を楽しむことができればと思います。

交流というと、先日のやどかり剣生会さんとの合同稽古は久しぶりの交流稽古で、とても楽しい時間でした。小中学生も普段会わない剣士たちと試合や稽古ができて、良い体験になったと思います。はじめて剣を交える相手との稽古は、緊張しますね。特に試合となるとなおさらです。不安や怖さがあるなかで、いつもの技が出せるようにはなかなかありません。なんであそこで打ちきれなかったのだろう、とか、逆になんであそこで安易に打ってしまったのだろう、とか毎回多くの反省があるものです。この経験を繰り返すことで心身が練られて強さになっていくものです。またどこかの剣友会と交流稽古があったり、大会が開催されたりすると思いますので、今回の反省を忘れずに普段の稽古を続けましょう。

さて、今月からは寒稽古期間に入ります。切り返し、打ち込み、掛かり稽古、地稽古という運動量の多いメニューになりますが、この期間にしっかり基礎的な体力はもちろん剣道の基本を身につけることができるはずです。今やっていることはすぐ今結果が出るものではありませんが、しっかり稽古すれば、先に必ず成長を実感できるはずです。



新ジャイアのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？

いよいよ師走（しわす）＝12月だな！

知っていると思うけど、12月は、いつも落ち着いている先生（師）も走り回るくらい忙しくなる月なんだって。本荘先生も走り回っているかな？

ところで、先日のやどかり剣生会との交流会、どうだった？基本組も初めての対外試合、がんばっていたね。緊張して声が出ない、体が出ない、技が出ない、っていう状況の中、精一杯がんばる姿勢が感じられて、良かったぞ。緊張することや苦しいことは、相手も同じなんだな。だから、相手よりもちょっとがんばると、良い結果につながるぞ。上級者組も久々の対外試合で緊張したかな？ひょっとすると、上級者組も初めての対外試合の人がいたかも。こちらも、よくやっていたと思うぞ。だいたい行事のあとは、注意することがおおいけど、今回は、誉める方がおおかったように感じるな。

ひとつだけ、気がついたことがあるので、みんなに伝えておくぞ。

それは、「普段の稽古で、やっていない技をやっても、決まるわけがない。」ってことだ。普段の稽古は、元立ち（もとだち）の人が打たせてくれるよな。その稽古で、一本になる技を打てるように練習しても、試合では、相手が打ってきたり、よけたりするので、なかなか決まらないよな。だから、普段、練習していない技を出しても、決まるはないよな。他の人の試合を見ていて、「あ！ああいう技があるんだ！やってみよう。」ってすぐにやっても、できるはずないよな。だって、練習してないんだもん。だから、そういうときは、次の稽古から、その技を練習するようにして、次の試合で出すようにしような。

話は変わって、12月、1月は、駒剣の寒稽古だな。駆け足（かけあし）、しこ、素振り、踏み込み足、切り返し、面打ち、かかり稽古など、基本を身につけるとても大切な稽古だぞ。この寒稽古をしっかりと乗り切れば、来年2月には、ぐーんと強くなっているはずだ。同じことをくりかえすので、あきちゃうときもあるかもしれないけど、同じように打てることは少ないので、1本、1本を大切に、試合で審判のはたが3本あがるような技が、いつでも出せるように、がんばってほしいな。

寒稽古の注意点2つ。

まずは、大きな気合。気合が大切なのは、ふだんの稽古も同じだけど、特に寒稽古では気合が大切だ。全員の気合が一緒になって、道場一杯が気合で包まれるくらいの迫力がないと、いい寒稽古とはいえないな。みんなの「がんばるぞ」っていう気持ちをあわせることが大切だぞ。

次に、元立ちの先生を空けないこと。元立ちの先生は、みんなに打たせてあげるために、立ってくれるんだぞ。みんなの練習台になってくれているんだぞ。そのことを忘れたら、剣道なんて強くないな。自分の番が終わって、苦しくても、空いているところがあれば、気合を出して、かかってくれよな。それも、寒稽古の醍醐味（だいごみ）だぞ。そうやって、かかっていく人が、結局、強くなっているぞ。

なんだか、オミクロン株なんていうのが出てきたけど、消毒、マスクなど感染対策をしっかりやって、寒稽古を乗り切ろう。

じゃあ、またな



剣道六段ご昇段 おめでとうございます



11月20日(土)に、八王子で行われた六段審査会において、錬成部の古澤久枝さんが、1回目の挑戦で合格されました。今後とも駒場剣友会でのご指導をよろしくお願いいたします。

錬成部、古澤です。

11月20日(土)

エスフォルタアリーナ八王子での六段審査の報告をさせていただきます。

*11時20分アリーナ到着

沢山の人がいる中、係の誘導に従い来た順に列を作り、アリーナの裏側まで進んで、午前の部の人全て退場するまで待機しました。

*実技審査までの流れ

ゾロゾロと列を成して入場。確認票を渡し、手の消毒と検温をしてから、廊下に設けてある年齢別の受付で各自手続きをします。

着替え後また受付に戻り、受審番号のシールを垂れに貼ります。

前半と後半に分けられ、それぞれ途中で10分の休憩があります。後半の私は観客席で待機し、後半開始のアナウンスで移動します。

*いよいよ実技へ。

面を着けようとしたところ10分休憩に入ったので、拍子抜けしました。

正座から気分転換のため立ち上がったら、足が痺れていたので焦りました。また、立ち会いのお相手と挨拶程度しか声を発しておらず、声が出るか心配になりました。

そうこうしているうち、前半の合格が廊下で発表されていました。私の受審番号は266D。

最初の相手は私より小柄な女性。

下に攻めてくるかな?と、考えつつ相手と合気になって所作をし、『始め』の掛け声で半歩攻め、間合いをじわじわと詰めて氣勢を發した所から無心だったのでしょか、記憶が断片しかありません。

『面』『小手擦り上げ面』2人目最後に『出小手』これが決まったのは鮮明に覚えています。

『気持ちを強く持ち、攻めて溜めてここだ!』と思ったところを捨て身で打ち切る。

相手に打たれても避けたり受けたりせず、面が当たってなくても打ち切る。残心し振り返り一歩出てまた攻める。』この流れを意識しました、諸先生方から頂いたアドバイスも立ち合いで出せたと思います。

そして実技の合格発表。

合格者は呼ばれた順に列を作り、別会場へ形の審査に向かいます。

形の審査が終わり、合格が頂ければ六段合格です。



*以前の反省と審査に向けて。

ちょうど2年前、審査の2週間位前の稽古中に左足の脹脛の肉離れをおこし、受審を断念しました。四、五段審査時にも怪我に悩まされ、その経験から年齢も考慮し、かつて痛めたところに負担がかからない様に稽古量も以前より抑えました。

その分自宅で軽く筋トレや素振り、YouTube等で合格者の立ち会いを観て補いました。また、全日本剣道連盟の審査結果の下欄に審査員の寸評があります。これも参考にしました。

そして審査当日、今回は睡眠もしっかり取れ、ベストな体調で挑めました。

*御礼

娘の入会から17年。

師範の先生方を始め駒剣の皆様には大変お世話になり、この度六段に合格することができました。感謝申し上げます。まだまだ未熟者ですので、これからも気を緩めず精進します。

皆様どうぞ宜しくお願い致します。



やどかり剣生会交流稽古会

令和3年11月14日(日)

@常盤小学校

駒場剣友会にとって、久しぶりの対外試合となりました。他団体さんとお稽古することで見えてきた課題があったのではないのでしょうか？明日からのお稽古にこの経験を生かしていきたいですね☆

1	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	酒井 (メ)メ	高見	葛西 ド	佐藤 反	工藤(有) (メ)メ	2(6)
		(メ)メ	メ	▲▲(メ)		
やどかり 剣生会	富田	満田	神津	黒上	結城	1(4)

2	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	海江田	出口	工藤(悠)	岩滝	保岡 ▲(メ)	1(1)
		(メ)メ		(メ)メ		
やどかり 剣生会	倉重	諸江	世古(結)	世古(朝)	赤羽	2(4)

3	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	酒井	高見	葛西	廣佐藤	工藤(有)	1(1)
	X		X		(メ)	
やどかり 剣生会					(メ)	(メ)メ
	倉重	諸江	世古(結)	世古(朝)	赤羽	

4	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	海江田	出口	工藤(悠)	岩滝	保岡	1(1)
	X		X		(ド)	
やどかり 剣生会					(メ)メ	(ド)ド
	富田	満田	神津	黒上	結城	

5	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	酒井	出口	岩滝	保岡	工藤(有)	0(1)
	X		X		(メ)	
やどかり 剣生会					(メ)	(メ)メ
	満田	諸江	神津	結城	世古(朝)	

6	先鋒	次鋒	三将	四将	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	小野塚(朔)	高山	並木	宮島	品田	柴田	2(4)
	X		X		(ド)		
やどかり 剣生会					(メ)	(コ)コ	(コ)
	林	倉重	中田	林	近澤	寺田	



7	先鋒	次鋒	三将	四将	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	小野塚(晴)	百木	廣江	矢嶋	小島	小澤	3(5)
	(メ)メ		(コ)			(メ)メ	
やどかり 剣生会				(メ)メ	(メ)		2(3)
	林	倉重	中田	寺田	近澤	寺田	

8	先鋒	次鋒	三将	四将	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	小野塚(朔)	高山	並木	宮島	品田	柴田	3(4)
		(メ)メ		(コ)		(ド)	
やどかり 剣生会	(メ)						1(1)
	中田	林	倉重	中田	寺田	近澤	

9	先鋒	次鋒	三将	四将	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	小野塚(晴)	百木	廣江	矢嶋	小島	小澤	2(2)
	(コ)					(コ)	
やどかり 剣生会		(メ)メ		(メ)メ	(メ)メ		3(6)
	倉重	中田	近澤	寺田	林	中田	

10	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数(本数)
駒場 剣友会	宮島	小野塚(晴)	高山	小澤	柴田	1(1)
	(メ)					
やどかり 剣生会						0(0)
	林	倉重	中田	近澤	寺田	



【一般】

	先鋒	次鋒	十二将	十一将	十将
駒場 剣友会	秋本	俵	竹中文	関口	飯山
		(ド)ド		(ド)	メ
やどかり 剣生会	(メ)メ	ド		メ	(メ)コ
	塩田 剣	神津 和	塩田 剣	諸江 拓	今野

	九将	八将	七将	六将	五将
駒場 剣友会	関口	工藤高	齋田	清水	山崎
	コ	(メ)メ	(メ)メ	(ド)	
やどかり 剣生会	(メ)ド				▲
	宮岡	平沼	氷見	富田	平井

	四将	三将	副将	大将	勝者数(本数)
駒場 剣友会	渡辺	廣江剛	長谷部	本荘	5(13)
	▲▲ (ド)	(コ)メ			
やどかり 剣生会	▲ 反			(ド)	4(10)
	村岡	栗原	野沢	塩田 雅	

【感想】

- 柴田くん 久々の交流会はとても楽しかったです。試合では少し受け身になってしまったので、これからの稽古では自分から攻めることを意識し、がんばっていきます。
- 小澤くん 今回は、やどかり剣生会さんとの交流会に出させていただきありがとうございました。やどかり剣生会さんとの試合では、いつもより積極的に攻める事が出来ました。稽古では、やどかり剣生会の先生に注意された事を通常の稽古で生かせるようにがんばります。
- 小島くん ぼくは初めて駒剣以外の人たちと練習試合をしました。まったく勝てなかったけど、いろんな技や礼儀を学べたので、良い勉強になりました。

- 品田くん 久しぶりに駒剣以外の剣友会と剣道ができたことと、試合をたくさん見ることができて楽しかったです。僕は、守ってばかりで勝てませんでした。次からは勝てるよう攻めていくことをがんばりたいです。
- 矢嶋くん 久しぶりに他の剣友会の選手と試合をしました。相手は強かったです。駒剣とは違った稽古もあり合同稽古も新鮮でした。
- 小野塚くん
(兄)
工藤さん 普段稽古をしない相手と試合ができて、楽しかったです。とても楽しかったです。基本を大切にしながら、新しい技を身に付けたいと思いました。
- 高山くん やどかり剣生会との交流会に参加させて頂きありがとうございました。今日は、大きな声を出して一生懸命、試合と稽古ができました。けれども、疲れてきた時にかかどが床についてしまっていたので、次の稽古から気を付けていきたいです。
- 並木くん 自分的には、だいぶがんばれました！！肉離れをして、復帰してから2回目の稽古のわりには（笑）・・・今後がんばります！！
- 廣江くん 僕はやどかり剣生会との交流試合で以前対戦して引き分けだった中田君に勝てたのはうれしかったです。積極的に技を出せたのがよかったです。次はもっと正確に打つ練習を積んで試合に挑みたいです。
- 宮島くん 一試合目は緊張していて声が出ず、思いきった技が出ませんでした。2試合目からは声も出て楽しく試合ができました。これからは、はじめから思いきった技を出せるようにしたいです。
- 百木さん 交流会に参加させていただきありがとうございました。久しぶりに違う会の人と試合や稽古をすることができて、とても楽しかったです。地稽古ではよく動けて返し技なども使えたけれど、試合では緊張して声も技も出ず残念な結果になってしまいました。もっと技がいつでも自然に出せるように身につけなければいけないなと思いました。
- 保岡さん 初めての対外戦で緊張しましたが、一本とれてよかったです。人それぞれ竹刀さばきや動きが違い勉強になりました。先生方の試合は気合が凄まじく勉強になりました。
- 岩滝さん とても緊張しましたが、一回勝つことができて嬉しかったです。たくさん試合ができて楽しかったです。
- 小野塚くん
(弟) 試合ができて楽しかったです。これからの稽古では最後まで腕を伸ばすことに気を付けたいです。



- 葛西さん 初めての対外試合でしたが、引き分けとは言え貴重な一本を取る経験が出来て、今後の励みになりました！
- 工藤くん 試合で一本も決まらなかったことと、3試合目に出られなかったことが悔しかったです。これからもっと上手になりたいと思いました。
- 佐藤くん はじめての対外試合でとても緊張しました。一本も取れなかったので、一本取れるように練習したいです。
- 海江田くん 他の会の人と素振りや体操が出来て楽しかったです。先生達の試合は大きな声が出ていてカッコ良かったです。
- 酒井くん 試合中、大きな声を出すという目標が達成出来て良かったです。また参加したいです。
- 高見くん はじめてこまけん以外のところと試合をしてとても楽しかったです。勝つ気持ちでがんばりました。
- 出口くん 他の剣道クラブの人達と試合ができて良かったです。負けてしまって悔しかったので、今度は勝ちたいです。
- 秋本くん この度は、交流会に参加させていただきありがとうございました。やどかりの先生方と沢山稽古させていただいた中で、「一定のリズムで打つから、いつ打つかがわかる」と教えていただきました。また、自分の試合で、前に攻めることができないという悪い癖が出てしまいました。これらのことをすぐに直すのは難しいですが、日々の稽古でこの2点を念頭に置き、励んでいきたいと思えます。
- 俵くん やどかり剣生会との交流会に参加させていただきありがとうございました。初めに行った小学生の試合では駒剣士のみんなが大きな声が出ていて、自分が打つ時の声が足りないと気がつけました。大人の試合では正しい竹刀のき道を見ることができました。中学校の部活で今回学んだ事を生かして稽古に励みたいと思います。

【やどかり剣生会の皆さん、ありがとうございました！】



もっと知りたい！駒剣錬成部！！

日々の駒剣のお稽古で、駒剣士に指導をしてくれたり、ご自身の鍛錬に励まれたりと子どもたちにとって憧れの錬成部の成人会員の皆さん。お世話になっている皆さんのことをもっと知りたいな！ということで不定期新連載です。こまだよ係が、お稽古でお会いした錬成部成人会員の方に順不同でお願いしております^^

お名前、駒剣歴、錬成部入会のきっかけ、今の駒剣士たちへ、駒剣の思い出などを
想いのままにお書きいただきました。



渡辺良平さん

「目標があることの大切さ」

今年の七段の昇段審査での合格者は、最年少は34歳で最高齢はなんと84歳。その年齢差は親子を通り過ぎて孫とお祖父さんに匹敵するほどです。この年齢差を見て過去に私が参加したある講習会で六段、七段の審査をご担当される審査員の先生の講話で、「前回の審査では80歳を過ぎた方が六段に合格されましたが、その努力、執念に対して頭が下がる、敬服する思いです。」と話されていたのを思い出しました。最年少で七段に合格された方は恐らく高校生時代や大学生の頃に全国大会で優勝経験或いは、上位に食い込んだことのある素晴らしい戦歴の持ち主で、社会に出られてからも途切れることなく剣道を続けられて七段審査まで全て一回で合格されてきたのだらうと思います。どれだけ厳しい稽古を乗り越えてきたのかは想像もできませんが、「全国優勝」という目標をもってそれに見合うだけの稽古を重ねてこられたのは間違いのないと思います。同時に応援して支えてくれる家族、素晴らしい指導者や切磋琢磨する仲間もたくさんいたのではないかと容易に想像できます。最高齢の方は恐らく大学生になってから或いは社会人になられてから剣道から離れ、40歳代或いは50歳代になってから復活された所謂「リバケン」或いはその年齢から初心者で剣道を始められた「中～高年初心者」ではないかと思えます。駒剣のお父さん剣士、お母さん剣士もほとんどがその「リバケン」や「中～高年初心者」がほとんどです。日頃から熱心に稽古されている方も多く、その熱意には頭が下がる思いです。

私も高校卒業で剣道から離れ42歳・二段で、駒剣でお世話になり始めました。三年前に六段に合格することができましたが、その間14年で次はリバケン20年目の節目となる62歳で七段審査の受審資格が発生します。リバケン後の17年間を振り返れば、全日本選手権出場や埼玉県を代表するような選手を目指す実力はなかったので昇段することと剣道を継続することを目標としてきましたが、まさか自分が七段を目指せるところまで来られるとは夢にも思っていませんでした。昇段は一つの大きな目標ではありますが、ゴールではなく最終的な目標は”生涯剣道“です。子供たちには難しい話ですが”当てっこ剣道（打突部位に当たったら一本）“ではなく”理合に基づいた剣道“を目指すことです。

目標達成は一人ではできませんので誰に感謝すべきか、何に感謝すべきか、何が足りないのか、何が必要か、何をしなければならぬか、何を我慢しなければならぬか、何を反省すべきかを考えなければなりません。早いもので来年還暦を迎えますが、還暦を過ぎてもお目標を持ち続けることができることに大きな幸せを感じます。今から思えば、もし17年前に我が子を強引に誘って駒剣にお世話になっていなかったら何かプライベートで目標を持った人生を送って来られたか？と自問自答すると何も浮かんできません。自分の性格から考えると休みの日にはたまに接待ゴルフに行く程度でそれ以外は、ただダラダラとビールを飲みながらテレビを観ているだけだと思います。そんな生活を続けていたら間違いなく今頃は

病気になっていたと思います。

ここ数年は忘れたころに筋肉痛がやってくるし、自分の稽古風景を動画で観るとハエがとまりそうなくらい動きが遅いし、肘や膝のサポーターなしでは稽古するのが怖い状況になってきていますが、呆れ顔しながらも支えてくれる家族、切磋琢磨できる仲間や厳しく指導して下さる師匠にも出会えて非常に恵まれた環境で稽古できています。死ぬまで目標を達成できないかも知れませんが、おそらくこの先もずっと目標を持ち続けられると思っています。17年前にリバケンして途切れることなく稽古してきて本当に良かったです。

趣味、得意なこと体力は人それぞれなので目標は内容が異なるし、考え方が違うのは当然のことだと思います。大きな目標を考える必要もないと思います。過去には駒剣の中で“強くなりたい！”ではなく“駒剣に来ることが目標”となっていた剣士もいました。その子も立派に目標を達成して卒業していきました。仲間の中には転勤、自身の健康状態やご家族の都合で剣道から離れなれてしまった方も少なからずおられます。剣道から離れられた方もきっと状況が変わればまた一緒に稽古できると信じています。

待っています。

飯山賢一さん

名前： 飯山賢一 駒剣2019年度卒業飯山大世の父です

駒剣歴： 2017年に入会（36年のブランクを経ての剣道再開は恐らく駒剣No.1で、この記録はこの先も塗り替えられないのでは・・・）

私も駒剣士の皆さんと同じく小学3年生から剣道を習い始め、当時TVアニメとして放映されていた「赤胴鈴之助」（知っている人はいますか？）が流行り、今の「鬼滅の刃」のような一種の剣道ブームに乗った形でした。この時の剣道教室では、警察学校の校長先生をされていた斉藤先生に厳しくも優しい指導をしていただいたことを今でもよく覚えています。

駒剣には、息子の大世が小学3年生からお世話になり、駒剣恒例行事の一つの「お父さん・お母さんの剣道体験稽古会」で、実に36年ぶりに道着・袴を着装して竹刀を振る機会に恵まれました。しかしながら、高校当時の記憶のままに打ち掛かると手足が全くついてこずに派手にひっくり返ってしまい、皆さんに心配をかけてしまったのが私の駒剣デビューでした。

その後の寒稽古打ち上げの席で、当時の後援部長の武笠さんと星野先生に強く、強く背中を押され、お酒もたくさん飲まされたうえの勢いもあり錬成部に入会をすることになりました。

あと、駒剣の思い出として忘れられないのが、初めて参加した夏の合宿です。合宿委員長を任されたものの、私自身は体力不足から早々と熱中症でダウンしてしまい合宿委員の方々には迷惑をかけてしまいました。2泊3日で楽しいレクリエーションの時間を挟みながら、朝から晩まで剣道三昧の合宿でとても貴重な体験をさせていただきました。

また、参加した子供たちがこの合宿中に見るみる上達し、間近でその成長する様を見られたことは、かけがえのない経験でした。コロナ禍で、この合宿以降の駒剣行事も制限されていますが、再開された暁にはぜひまた参加したいと思っています。

また、一昨年クリスマス会ではスターウォーズのジェダイに扮してフォースと共に戦いましたが、何故だかダークサイドに落ちたかのような印象をあたえていました。私自身まだまだ修業が足りないと思っています。ちなみに、ジェダイとはルーカス監督が「時代劇」を由来に命名したそうです。

私も稽古や試合では上手いいかないことばかりですが、「打って反省、打たれて感謝」の精神で、皆さんと共に鍛錬を続けて一緒に成長していきたいと思っています。



関口大輝さん

錬成部兼駒剣 0B の関口 大輝（セキグチ ヒロキ）です。

【駒剣歴】

私の駒剣歴はほぼ私の剣道歴とも言えます。

1997年（小学4年生【道祖土小学校】の頃）駒剣に入会、1999年に卒業。

中学校【木崎中学校】入学後は尾島先生に中学校の外部指導員になって頂いた事もあり駒剣とのつながりは深く、合宿等のイベントや稽古に参加。

高校【浦和実業学園高校】でも剣道部に入部していた為、部活がオフの時に修道館で稽古をつけて頂きました。

大学【駒澤大学】入学後は剣道と離れた為、駒剣とも若干疎遠に。

2012年（社会人三年目）に、福岡支店から本社に異動となり駒剣に本格的復帰。現在に至ります。

【駒剣に入ったきっかけ】

小学校の同級生の友人（駒剣 0B の石井君、大野君）と一緒に剣道教室に参加。

剣道が好きという感情ももちろんありましたが、駒剣の先生、先輩、同級生、お父さん・お母さん達が大好きになり入会しました。

当時お世話になった先生方、同級生、後輩とは今でも連絡を取っています。

【駒剣での思い出】

- ・小学生、中学生の頃の思い出

クリスマス会、合宿などがとても楽しかったです。

当時の駒剣は生徒数も10~15人位の少人数だったので男女・先輩・後輩など関係なく、仲良く笑顔が絶えなかったです。

※現在の駒剣も笑顔が絶えない環境で変わっていないのでとても嬉しく思っています。

- ・錬成部での思い出

小学生、中学生の頃と同じく合宿です(笑)。たくさん稽古が出来るし、その夜の会も毎年楽しい時間です。

駒剣合宿は私にとっての夏の一大イベントとなっており、会社の上司や先輩からも認識されているほどです。

コロナが収まったら、また行きたいですね。

【私にとっての駒剣とは】

尾島先生がいつも仰っていたように駒剣は【実家】のような存在です。簡単なイメージはこんな感じです。

- ・指導部の先生：お父さん・お母さん

※特に小学生の頃からお世話になっている尾島先生には頭が上がりません。(笑)

- ・錬成部の先生・小学生のお父さん／お母さん：何かあれば助けてくれるお兄ちゃん・お姉ちゃん

- ・小学生の皆・0B/0G 会員の皆：少し生意気だけど憎めない弟・妹。

駒剣はいつ戻って来たとしても指導部の先生、錬成部の先生、後援部を中心とした小学生のお父さん・お母さん方が出迎えてくれるとても暖かい所です。

小学生の皆はまだ分からないかもしれませんが、こんな環境はなかなかありません。

駒剣での出会いは一生ものです。大切にしてくださいね！



こまだよアーカイブ

「こまけんだより」は来春20周年を迎えます。そこで過去の広報紙を読み返し、これとは感じた記事を令和の読者の皆様にお届けいたします。今月は平成23年1月号より抜粋です。

冬といえば寒稽古。今年度も残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止が決まっている埼玉大学で行われる寒稽古。寒くて暗い冬の朝なのにこんなに活気がありました。懐かしい。

【埼玉大学寒稽古 初日より】



毎朝、ランニングが始まる前に円陣組んで、気合を入れます。

「こまけんファイト——ッ!!」「オオ——ッ!!」**ダ〜ンッ!** (みんなの踏み込みの音♪)



埼玉大生を先頭にランニング開始!「イチ!イチ!イチニッ ソーレ!」



お母さん剣士たちも、入会間もない津越父子も頑張る!



周平君、面つけ1番で今年も大保木先生一番乗り!! スゴいなあ〜!

大人も子どもも、先生方にどんどんかかる!



稽古のメは『竜田川(早素振り)』



寒い中見守ってくださるおうちの方々、ありがとうございますm(_)_m

石井のetc日記

